

菌ちゃん農法による 野菜づくりを体験しませんか？



①

土づくりと
学習会
6/7(土)



②

植え付けと
実践報告
9/6(土)



③

収穫と試食会
11/29(土)



講師：鹿野 翔氏
鹿ファーム代表。神奈川県
出身。1986年生。九州大学
農学部卒。元日田市地域お
こし協力隊。おおいた有機
農業研究会有機JAS検査
員。菌ちゃん野菜づくりア
ドバイザー。「農のよろこ
びをわかちあいたい」を
テーマに有機農業、食農教
育、体験活動を行う。

有機農業講習会

日時：①土づくりと学習会 6月7日(土) 9:00～12:00
②植え付けと実践報告 9月6日(土) 9:00～12:00
③収穫と試食会 11月29日(土) 9:00～12:00

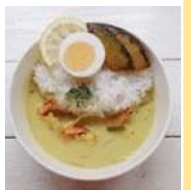
※原則3回すべてに参加できる方、中学生以下は保護者同伴で
お願いします。

※終了後、懇談会を予定しています。ヒツジとトラさんのカレー
弁当を注文できますので、ご希望の方はお知らせください。

集合場所：日田市立前津江小学校

持ち物：軍手、スコップ、クワ、長靴、長袖、帽子、飲み物

参加費：無料



落ち葉、ウッドチップ、杉などの自然物を使った、無肥料栽培の方法「菌ちゃん農法」を学習します。今年度は、秋じゃがを栽培して、できたじゃがいもは、学校給食に提供する予定です。農業者はもちろん、家庭菜園をしている方、有機農業を始めたい方、保護者の皆様、お子様連れも大歓迎です。

実施団体：日田市有機農業研究会

お申込み・お問い合わせ 日田市有機農業研究会 TEL：080-1080-3040

申込みフォーム→



菌ちゃん農法、環境再生型農業とは！？



↑ 吉田俊道さん

株)菌ちゃんふぁーむ代表取締役NPO法人大地といのちの会
理事長農学修士 長崎県環境アドバイザー 1959年長崎市生まれ。

九州大学農学部大学院修士課程修了後、長崎県の農業改良普及員に。96年、県庁を辞め、有機農家として新規参入。

菌ちゃん農法は、長崎県佐世保市で菌ちゃんふぁーむを運営する吉田俊道さんが提唱した農法です。

化学合成肥料を使わずに自然のもの（落ち葉、草、木）などを土づくりに使います。そうすると微生物（菌ちゃん）、その中でも糸状菌やそれと手を繋ぐ窒素固定細菌などが増えます。窒素固定細菌の働きで、空気中の窒素を畑に取り込むことができるようになります。

そのため、植物の成長に不可欠な窒素分を加える必要がなくなり、エネルギーや資源を使って製造する化学肥料を使わなくても良くなるという、画期的な農法です。

農薬や化学肥料の使用量を減らす環境“保全”型農業という言葉は

聞くようになって久しいですが、環境“再生”型農業とは、もっと積極的に環境を改善していく農業です。海外でも、カーボンファームイングやリジェネラティブ農業と呼ばれ、注目を集めています。炭を農地に埋め込むことで、空気中の温室効果ガスを減らすことができたり、畜産とうまく組み合わせることで土地を豊にしていこうといった、地球環境を再生していく農法が次々と生まれています。



また、菌ちゃん農法では、一度高い畝を立てれば、半永久的に使いまわせるので、トラクターが入らない小さな畑や、家庭菜園にもおすすめできます。

こうした自然のものを使った無肥料の菌ちゃん土づくりが、今、全国各地で広がっています。有機農業って、難しそうと思われる方も、ぜひ、この機会に一緒に取り組んでみませんか？

